

**参考文献（引用文献を含む）**

この本は、ここに記した文献を参考に作成しました。  
一部書き換えたものを記載している場合があります。

- 第一話 吉野川下流域の高地蔵「高地蔵探訪ガイドブック」（建設省徳島工事事務所、平成一〇年）
- 第二話 蔵珠院の洪水痕跡「四国三郎物語」（建設省徳島工事事務所、平成九年）
- 第三話 川費さん「名東郡史（統編）」（名東郡史統編編集委員会、昭和六年）
- 第四話 印石「四国三郎物語」（建設省徳島工事事務所、平成九年）
- 第五話 愛宕地蔵「四国三郎物語」（建設省徳島工事事務所、平成九年）
- 第六話 割腹した稲垣監物と監物堤「四国三郎物語」（建設省徳島工事事務所、平成九年）
- 第七話 三王神社「四国三郎物語」（建設省徳島工事事務所、平成九年）
- 第八話 日本一の水防竹林「四国三郎物語」（建設省徳島工事事務所、平成九年）
- 第九話 浸水時の知恵「阿波の語り部」（徳島県老人クラブ連合会、昭和六三年）
- 第十話 ひでり続きでほこり立つ「阿波の語り部」（徳島県老人クラブ連合会、昭和六三年）
- 第十一話 危機一髪 住民公募
- 第十二話 百度石に刻まれた教え「南海地震の碑を訪ねて」（毎日新聞高知支局、平成一四年）
- 第十三話 目の当たりにした凄さ「昭和南海地震体験談に見る徳島市の姿と知恵」（徳島市消防局、平成一五年）
- 第十四話 お亀千軒「阿波の民話集 お亀千軒（飯原一夫、平成元年）
- 第十五話 九死に一生を得る「昭和南海地震体験談に見る徳島市の姿と知恵」（徳島市消防局、平成一五年）
- 第十六話 百畳敷のお寺「水害と治水と水防の知恵」（宮村忠、昭和六〇年）
- 第十七話 万代まで続け、「万代堤」―那賀川歴史文化紀行ガイドブック（国土交通省那賀川工事事務所、平成一三年）
- 第十八話 寅年の水「タウンニュースなかとみに載ったわたしの町のむかし話」（加美乃木） 神木悟、平成一二年）
- 第十九話 大水がくるぞ「タウンニュースなかとみに載ったわたしの町の

- 第二十話 むかし話（加美乃木） 神木悟、平成一二年）
- 第二十一話 堰をめぐる上下流の争い「タウンニュースなかとみに載ったわたしの町のむかし話」（加美乃木） 神木悟、平成一二年）
- 第二十二話 たじ父の教え「阿波の語り部」（徳島県老人クラブ連合会、昭和六三年）
- 第二十三話 地盤沈下の苦しみ「恐怖の大津波」（鶴津波を語り継ぐ会、平成一五年）
- 第二十四話 もどった おやくっさん「上那賀のむかし話」（上那賀町、昭和五八年）
- 第二十五話 あの時すぐ逃げていれば「南海道地震津波の記録 海が吠えた日」（牟岐町教育委員会、平成八年）
- 第二十六話 ごつついぞ「阿波の語り部」（徳島県老人クラブ連合会、昭和六三年）
- 第二十七話 お母ちゃん行けんもん「南海地震津波の記録 宿命の浅川港」（海南町、昭和六一年）
- 第二十八話 はよう逃げ、はよう逃げ「南海地震津波の記録 宿命の浅川港」（海南町、昭和六一年）
- 第二十九話 両親からの言い伝え 住民公募
- 第三十話 古よりの警鐘「震潮記」阿波国宍喰浦 地震・津波の記録 震潮記（田井晴代、平成一八年）
- 第三十一話 堤防が吹っ飛んだ「平成16年災害体験集 未曾有の災害と戦った四国各地の声」（四国建設弘済会・四国建設業協会連合会、平成一六年）
- 第三十二話 お別れぞね「88高知大水害の記録」（高知新聞社、平成一〇年）
- 第三十三話 繁藤の豪雨「土佐山田町史（土佐山田町教育委員会、昭和六二年）
- 第三十四話 結いの文化「高知新聞」（平成一六年八月二日）
- 第三十五話 避難なんてできやせん「88高知水害被害障害者調査報告集 あるとき 私ほ……」（高知水害被害障害者調査委員会、平成一一年）
- 第三十六話 非常事態宣言 住民公募
- 第三十七話 裏山から土石流 住民公募
- 第三十八話 寸志夫「土佐市史」（土佐市、昭和五三年）
- 第三十九話 真覚寺地震日記「四国の地震（岡野健之助、昭和六三年）
- 第四十話 先人が残してくれた教訓「土佐市史」（土佐市、昭和五三年）
- 第四十一話 弟のおかけ「防災を考えよう」(春野町仁西郵便局、平成一七年）
- 第四十二話 みこしの漂流「須崎史談 第14巻」（須崎史談会、昭和四九年）
- 第四十三話 宝永津浪溺死の塚「須崎史談 第25巻」（須崎史談会、昭和五一年）
- 第四十四話 長女が津波に奪われた「南海チリ地震津波録 海からの警告」

- 第四十四話（須崎市、平成七年）
- 第四十五話 突然の激流「窪川町史（窪川町、平成一七年）
- 第四十六話 念仏堰「大方町史」（大方町、平成六年）
- 第四十七話 阿鼻叫喚の夜の避難「渡川災害史と治水運動史」（森栄著、昭和六二年）
- 第四十八話 燃え上がった火の手「南海大震災の記録―裂けた大地」（土佐民話の会、昭和五六年）
- 第四十九話 おろよ、おろよ「渡川災害史と治水運動」
- 第五十話 再起不能か「中村市史 統編」（中村市、昭和五九年）
- 第五十一話 義民・中平宗兵衛「土佐史談 第61号（土佐史談会、昭和二年）
- 第五十二話 救ったのは人のつながり「平成13年9月6日高知県西南部豪雨災害体験集 救ったのは人のつながり」（四国地方整備局・高知県、平成一四年）
- 第五十三話 駐在さん、駐在さん「平成13年9月6日高知県西南部豪雨災害体験集 救ったのは人のつながり」（四国地方整備局・高知県、平成一四年）
- 第五十四話 驚天動地の津波高「宿毛市史」（宿毛市教育委員会、昭和五二年）
- 第五十五話 総曲輪「宿毛市史」（宿毛市教育委員会、昭和五二年）
- 第五十六話 逆倒竹「大洲市誌」（大洲市誌編集会、平成八年）
- 第五十七話 水よけ場「脇川 人と暮らし 川の文化誌」（横山昭市編著、財団法人愛媛県文化振興財団、昭和六三年）
- 第五十八話 豫州大洲洪水嘶「豫州大洲洪水嘶」（大洲市立博物館所蔵資料）
- 第五十九話 人伝えの情報の大切さ「平成16年災害体験集 未曾有の災害と戦った四国各地の声」（四国建設弘済会・四国建設業協会連合会、平成一六年）
- 第六十話 避難用の舟「写真で見える「脇川の水害」（大洲河川国道事務所、平成一六年）
- 第六十一話 瀬戸内海の津波「災害予知と防災の知恵」（小川豊、平成八年）
- 第六十二話 大谷川の水除け争い「松前町誌」（松前町、昭和五四年）
- 第六十三話 義民・窪田兵右衛門「伊予市史」（伊予市、昭和六一年）、「松前町誌」（松前町、昭和五四年）
- 第六十四話 人名がついた重信川「重信町誌」（重信町、昭和六三年）
- 第六十五話 大川文蔵と石手川改修「伊予史談 第103号（伊予史談会）
- 第六十六話 菖蒲堰の水争い「重信町誌」（重信町、昭和六三年）
- 第六十七話 大崩壊物語「川内町新誌」（川内町、平成四年）、「らんどすらいど20号」（日本地すべり学会関西支部、平成一七年）
- 第六十八話 四度目の成功「東予市誌」（東予市、昭和六二年）

- 第六十八話 災害弱者の避難を的確に「平成16年災害体験集 未曾有の災害と戦った四国各地の声」（四国建設弘済会・四国建設業協会連合会、平成一六年）
- 第六十九話 地獄に仏のありがたさ「平成16年災害体験集 未曾有の災害と戦った四国各地の声」（四国建設弘済会・四国建設業協会連合会、平成一六年）
- 第七十話 真っ暗な中の明かり「新居浜史談 第100号（新居浜郷土史談会）
- 第七十一話 山向こうの水をこらに「伊予史談 189号併号」（伊予史談会、昭和四三年）
- 第七十二話 治山治水が大事「証言くあの日をおぼれない」（平成16年香川県土砂災害の記録）（香川県、平成一八年）
- 第七十三話 土下座の説得「証言くあの日をおぼれない」（平成16年香川県土砂災害の記録）（香川県、平成一八年）
- 第七十四話 土砂に埋まった牛「証言くあの日をおぼれない」（平成16年香川県土砂災害の記録）（香川県、平成一八年）
- 第七十五話 四国の水がめ「綾南町誌」（綾南町、平成一〇年）
- 第七十六話 庄屋・久保太郎右衛門「綾南町誌」（綾南町、平成一〇年）
- 第七十七話 ひょうげまつり「讃岐のため池誌」（香川県、平成一二年）
- 第七十八話 土びん水「川島郷土誌」（高松市立川島公民館、平成七年）
- 第七十九話 番水と香箱「多肥郷土史」（高松市立多肥公民館、昭和五六年）
- 第八十話 消防だけでは太刀打ちできない「平成16年災害体験集 未曾有の災害と戦った四国各地の声」（四国建設弘済会・四国建設業協会連合会、平成一六年）
- 第八十一話 八栗の峯くずれ「庵治町史」（庵治町、昭和四九年）
- 第八十二話 小豆島の土砂災害「昭和51年9月台風17号の集中豪雨による災害と復旧の記録」（池田町、昭和五四年）
- 第八十三話 おそろしかった3日間「昭和51年9月台風17号による集中豪雨（一四〇〇ミリの爪跡）（内海町、昭和五二年）
- 第八十四話 真新しい毛布「昭和49年7月台風8号による集中豪雨 災害の記録」（内海町、昭和五〇年）
- 第八十五話 大小二つのため池「志度町史 下巻」（志度町、昭和四五年）
- 第八十六話 まさか三木町に「昭和62年10月台風19号災害と復旧の記録 まさか三木町に」（三木町、平成二年）
- 第八十七話 電柱に救われる「証言くあの日をおぼれない（平成16年香川県土砂災害の記録）（香川県、平成一八年）
- 第八十八話 真鈴の水「琴南町誌」（琴南町、昭和六一年）

## あとがき

災害の体験談などとして出版されたことはあっても、四国の防災話が一冊の刊行物にまとめられたのは、おそらく本書が最初のものと思います。

この企画は、長いスパンで見れば確実に発生する自然現象である地震等の大規模災害に対して、四国に暮らす多くの人々の防災意識が希薄であるとの防災担当者危機感から生まれました。四国地方には昔から災害に対処する知恵が防災文化として育まれてきましたので、それを多くの方々に伝えるのが私たちの使命であると考えました。

これまでに集めてきた災害に関する伝説、郷土史、災害記録などの文献、災害史跡の記録などの整理、住民の皆さんに対する防災話の公募を行うとともに、様々な方々のご協力をいただき災害に関する新たな資料の収集や現地調査を行いました。現地を歩く中で、涙が出るような悲惨な話や地域を守った先人の献身的な活動などを知り、私たちは改めて多くのことを感じ、学ぶことができました。

本作りに当たっては、多くの方々取材や資料提供などにご協力いただき、四国防災八十八話検討委員会、編集委員会の委員各位には熱心にご指導いただきました。ご尽力いただいた方の名を列挙して感謝の意を表します。

監修をいただいた四国防災八十八話検討委員会（委員長 村上仁士氏（徳島大学名誉教授））他一名の委員の諸先生方、冊子の編集をしていただいた編集委員会（委員長 鳥居謙一氏（愛媛大学教授））の諸先生方、防災話に応募していただいた多くの住民の方々、現地調査に協力いただいた（財）日本システム開発研究所の山本基氏、資料提供や写真撮影などに便宜を図ってくださいました田井晴代氏、井上徹氏、資料提供に快く協力いただいた図書館や自治体の関係者の方々など、多くの方から献身的なご協力をいただきました。皆様に心からお礼申し上げます。

### 四国防災八十八話検討委員会事務局

#### 四国地方整備局企画部

松尾 裕 治【環境調整官（危機管理連絡室長）】  
藤川 昌 幸【防災対策官】  
山本 博 久【防災課長】  
丸岡 孝 孝【防災課長補佐】  
瀬戸 寿 和【計画係長】  
梶本 泰 司【調整係長】  
石川 智 也【技 官】  
橋田 貴 士【技 官】

「四国防災八十八話」検討委員会委員

委員長	徳島大学	名誉教授	村上仁士
委員	徳島大学	教授	岡部健士
	徳島大学	准教授	中野晋
	香川大学	教授	野田茂
	香川大学	工学部	長谷川修一
	愛媛大学	防災情報研究センター	矢田部龍一
	愛媛大学	防災情報研究センター	高橋治郎
	愛媛大学	防災情報研究センター	鳥居謙一
	高知大学	農学部	大原邦雄
	高知大学	農学部	笹原克夫
	高知工科大学	社会マネジメント研究所	那須清吾
	国土交通省	四国地方整備局	企画部長 菊池良介

(順不同 敬称略)

愛媛大学「四国防災八十八話」編集委員会委員

委員長	愛媛大学	教授	鳥居謙一
委員	愛媛大学	教授	矢田部龍一
	愛媛大学	教授	高橋治郎
	愛媛大学	農学部	松尾芳雄
	愛媛大学	防災情報研究センター	千代田憲子
	愛媛大学	教育学部	川瀬久美子
	財日本システム開発研究所	主任研究員	山本基

(順不同 敬称略)

イラスト	漫画家	岡野小夏
事務局		津守玲子

先人の教えに学ぶ

四国防災八十八話

平成二〇年三月二十五日発行

企画・発行 国土交通省四国地方整備局

〒七六〇一八五五四

香川県高松市サンポート三番三三号

電話 〇八七―八五―一八〇六一 (代表)

FAX 〇八七―八一―一八四一〇

監修 「四国防災八十八話」検討委員会

編集 愛媛大学「四国防災八十八話」編集委員会

印刷 セキ株式会社